

# 9月1日 防災の日

## いつ発生するかわからない

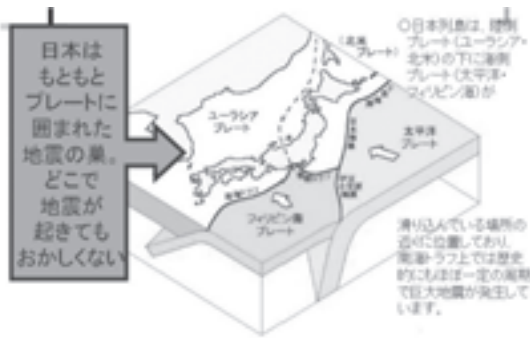
## 東海地震などの大規模地震に備えて

今、嚴重に注意を図られている地震は、東海地震の発生です。もし、東海地震が発生すると東南海地震・南海地震が同時に発生する可能性もあるといわれています。

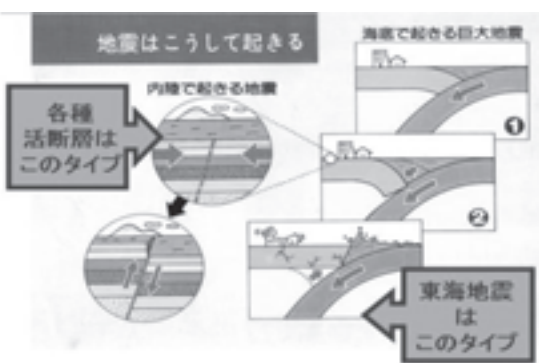
東海地震が起きる予測は、国土交通省で地殻の変動を常時観測し、異常が発生すると「警戒宣言」が発令されます。もし発生したらどうしたらいいのでしょうか。

### ①東海地震の発生原因

東海地震の想定震源域である静岡県から西の太平洋には、南海トラフというプレート境界があり、そこでは海側プレートが陸側プレート下に滑り込み、その境界により歪み(地震)が発生するものです。



▲日本近海のプレート図。各プレートに囲まれて地震が発生しやすくなっている。



▲東海地震発生のメカニズム。日本およびその周辺で発生する地震と同様です。

### ②東海地震が起きると・・・

市内では**震度5強から震度6弱程度**の揺れが予想されます。

### 震度5強・6弱とはどれぐらいの被害が予想されるのか？

震度5強	非常に恐怖感を感じる。補強されていないブロック塀の多くが崩れる。
震度6弱	立っていることが困難になる。かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。

※「震度」とは、その場所ごとのゆれの大きさを示します。参考までに阪神・淡路大震災時の岐阜市の震度は4でした。

### ③「警戒宣言」が発令されたら・・・

◆正しい情報に耳を傾けましょう  
デマにまどわされないよう、テレビ、ラジオのニュースや市からの正しい情報に耳を傾け、落ち着いて行動しましょう。

◆火の始末をしましょう  
地震で怖いのは火災です。火を使う場合はいつでも消せるように「素早い消火、火の始末」を心がけましょう。



▶震災発生後の神戸市内の火災現場。